

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【公開番号】特開 2005-110002 (P2005-110002A)

【公開日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-016

【出願番号】特願 2003-342068 (P2003-342068)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/274 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/725 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/274

H 0 4 M 1/00 L

H 0 4 M 1/725

H 0 4 B 7/26 1 0 9 L

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 26 日 (2006.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着信履歴の一覧を表示部に表示する電話機であって、

着信時に応答した相手先と応答しなかった相手先とを区別して記憶領域に記録する着信履歴記録手段と、

前記記憶領域に所定数の着信履歴が記録されている場合、前記着信履歴記録手段が新たな着信履歴を記録しようとするとき、着信時に応答した相手先を応答しなかった相手先の着信履歴より優先的に消去する消去手段とを備えることを特徴とする電話機。

【請求項 2】

着信時に応答しなかった着信履歴は、更に

消去を禁止することを示す保護状態 1 と消去を禁止しないことを示す保護状態 2 のいずれかの保護状態を示す記載項目を含み、

前記電話機は、更に、

前記保護状態を保護状態 1 に設定できる着信履歴の最大数である制限保護数を有し、

前記着信履歴記録手段で記録された着信履歴が着信時に応答しなかった着信履歴である場合、前記保護状態が保護状態 1 に設定されている着信履歴の数が前記制限保護数未満であるとき、当該応答しなかった着信履歴の保護状態を保護状態 1 に設定し、前記保護状態が保護状態 1 に設定されている着信履歴の数が前記制限保護数に達しているとき、当該応答しなかった着信履歴の保護状態を保護状態 2 に設定する保護設定手段を備え、

前記消去手段は、更に、

前記所定数の着信履歴がすべて着信時に応答しなかった履歴であるとき、前記保護状態が保護状態 1 に設定されていない最先の着信履歴を消去することを特徴とする請求項 1 記載の電話機。

【請求項 3】

前記電話機は、更に、

前記保護設定手段により応答しなかった着信履歴が保護状態 2 に設定された場合、着信履歴の一覧を前記表示部に表示したとき、当該着信履歴を保護状態 1 に設定できなかったことを告知する保護告知手段を備えることを特徴とする請求項 2 記載の電話機。

【請求項 4】

前記保護設定手段は、更に、

着信時に応答しなかった同一相手先の着信履歴が複数あるとき、複数の当該着信履歴のうち最新の着信履歴の保護状態を保護状態 1 に設定し、当該着信履歴のうち最新以外の着信履歴の保護状態を保護状態 2 に設定することを特徴とする請求項 3 記載の電話機。

【請求項 5】

前記電話機は、更に、

前記制限保護数として、前記所定数未満で 1 以上の指定の数値を受け付ける受付手段と、
前記受付手段で受け付けた数値を制限保護数として更新する制限保護数更新手段とを備えることを特徴とする請求項 4 記載の電話機。

【請求項 6】

前記受付手段は、更に、

前記表示手段で表示された着信履歴のうち所望の履歴を指定する履歴指定受付部と、
前記履歴指定受付部で受け付けた着信履歴の処理指示を受け付ける履歴処理指示受付部とを有し、

前記保護設定手段は、更に、

前記履歴指定受付部で受け付けた着信履歴が応答しなかった着信履歴の場合、前記履歴処理指示受付部で受け付けた処理指示が保護の状態を変更する保護変更のとき、当該着信履歴の保護状態の変更を行う保護更新部を有することを特徴とする請求項 5 記載の電話機。

【請求項 7】

着信履歴の一覧を表示部に表示する電話機であって、

着信時に応答した相手先と応答しなかった相手先とを区別して記憶領域に記録する着信履歴記録手段と、

着信履歴の保護が設定されているかどうかを示す保護状態を保持する保護状態保持手段と、

前記記憶領域に所定数の着信履歴が記録されている場合、前記着信履歴記録手段が新たな着信履歴を記録しようとするとき、着信時に応答した相手先の着信履歴を応答しなかった相手先の着信履歴より優先的に消去する消去手段とを備え、前記保護状態保持手段に保護が設定されている場合はその保護された着信履歴の消去を禁止とすることを特徴とする電話機。